

製品名: ATP6V1A ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe85328**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む TBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:10-1:20
分子量	Calculated MW: 68 kDa; Observed MW: 68 kDa

抗原情報

遺伝子名	ATP6V1A
別名	HO68; VA68; VPP2; Vma1; ARCL2D; ATP6A1; IECEE3; ATP6V1A1
遺伝子 ID	523.0
SwissProt ID	P38606
免疫原	ヒト ATP6V1A の組み換えタンパク質

背景

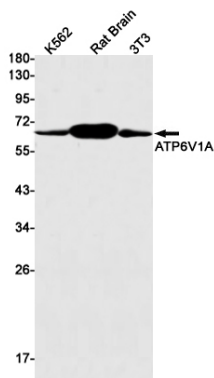
液胞性 ATPase 末梢 V1 複合体の触媒サブユニット。液胞性 ATPase は真核細胞における様々な細胞内コンパートメントの酸性化を担

う。好気条件下では、細胞内鉄恒常性維持に関与し、Fe²⁺プロリルヒドロキシラーゼ (PHD) 酵素の活性を誘導し、HIF1Aの水酸化とそれに続くプロテアソーム分解につながる (PubMed:28296633)。神経突起の発達とシナプス接続にも関与する可能性がある (PubMed:29668857)。

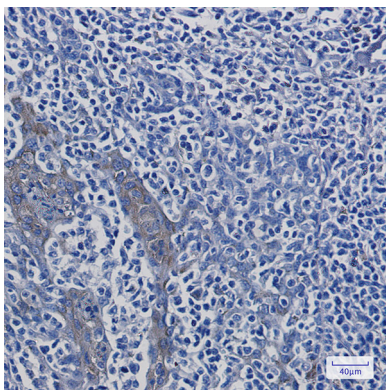
研究分野

-

画像データ



ATP6V1A 抗体を使用した K562、ラット脳、3T3 溶解物中の ATP6V1A のウエスタンブロット分析。



ATP6V1A 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。